

令和5年度 週休2日制工事（発注者指定型）に向けた試行に係る特記仕様書（土木工事編）

（目的）

- 1 建設産業において、就業者の高齢化と担い手不足が進行するなか、将来にわたり安定的に社会資本を整備及び維持していくためには、若手技術者等の確保・育成が重要な課題となっており、対応策の一つとして、週休2日の確保による建設現場の就労環境の改善が求められています。このため、週休2日の普及に向けて、土曜日及び日曜日を工事現場休工日とする取組を試行的に行います。

（週休2日制の定義）

- 2 この仕様書において、「週休2日」とは、次のとおりとします。
 - （1）「週休2日」とは、対象期間内に4週8休以上、現場閉所等により当該現場の休日を確保することをいう。
 - （2）週休2日制試行工事の対象期間は、現場着手日から工事完成報告書の提出日までとします。
 - （3）対象期間中、原則として土曜日及び日曜日を工事現場休工日とします。
（下請負者を含む）。ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合で監督員との協議により、現場休工日に工事現場を稼働させた時は、その後、4週間以内に振替を行った（4週8休以上を達成した）場合は週休2日が実施できたこととします。
※地元調整により、土・日に作業を行い振替を行った場合は週休2日が実施できたこととします。
※現場休工とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を除き、現場事務所での事務作業も含め1日を通して現場事務所が閉鎖された状態をいう。

（入札公告等への明示）

- 3 発注者は、入札公告において、週休2日制工事（発注者指定型）に向けた試行である旨を明示します。

（受注者の取組内容）

- 4 受注者は対象期間中、毎月、条件を満たす休日等取得計画／実績書を作成し、発注者に提出すること。（参考様式参照）
- 5 受注者は対象期間中、毎月、上記で作成した休日等取得計画／実績書に現場の休工実績を追記し、発注者に提出すること。
- 6 受注者は、下請負者に対し、「週休2日制工事」の取組にあたり必要な事項について協力を依頼すること。

（経費の計上）

- 7 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上（現場閉所日数/対象期間日数＝28.5%以上）の現場閉所を前提とした補正係数（別紙1）を乗じたそれぞれの経費（労務費、機械経費（機械賃料）、共通仮設費率、現場管理

費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

- ・ 労務費 : 1.05
- ・ 機械経費（賃料） : 1.04
- ・ 共通仮設費率 : 1.04
- ・ 現場管理費率 : 1.06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数
		4週8休以上
鉄筋工		1.05
ガス圧接工		1.04
インターロッキングブロック工	設置	1.02
	撤去	1.05
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.01
	撤去	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.04
	撤去	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.03
道路標識設置工	設置	1.01
	撤去・移設	1.04
道路付属物設置工	設置	1.02
	撤去	1.05
法面工		1.02
吹付砕工		1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.03
道路植栽工	植樹	1.05
	剪定	1.05
公園植栽工		1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.04
橋面防水工		1.02
薄層カラー舗装工		1.01
グルーピング工		1.01
軟弱地盤処理工		1.02
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		1.01

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

名称	規格・仕様	補正係数
		4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工		1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.03
砂基礎工	人力施工	1.05
	機械施工	1.05
砕石基礎工	人力施工	1.05
	機械施工	1.05
組立マンホール設置工		1.05
小型マンホール工		1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.02